



# 大浜小だより

令和3年度 第6号

令和3年9月6日(月)

玉名市立大浜小学校

校長 内田 雅三

## 前期後半が始まりました

実質36日間の夏休みが終わり、8月27日から前期後半の学校生活が始まりました。今年の夏休みは、猛暑日が続いたかと思うと、お盆前から1週間以上にわたって大雨が降り続き、全国各地で記録的な豪雨や災害に見舞われました。また、世界各地でも大規模な洪水等が起きるなど、地球規模での環境の変化や気候の変動を実感させられる状況が見られました。一方で、1年延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催され、アスリートの懸命のプレーや日本人選手の連日の活躍とメダルラッシュに、多くの感動や元気をもらいました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況には出口が見えず、県内の大半の学校は最大限の感染防止対策を求められる中で夏休みを終え、学校を再開することになりました。

玉名市では、市立の小・中学校が、県の「まん延防止等重点措置」が解除される予定の9月12日(日)までの期間、原則として午前中の授業を行ったあとは給食後速やかに下校することとなっており、本校も午前中4時間の授業を実施したあと、給食を食べたらすぐに後片づけと帰りの会をして、13時25分に一齐に下校するようにしています。また、これまで行ってきたマスクの着用や手洗い・消毒の励行等に加え、右に示すような新たな対策をとりながら、感染の予防と拡大の防止に努めています。

児童には、しばらくの間いろいろな面で不自由や我慢を強いることとなりますが、皆で力を合わせてこの難局を乗り越えていきたいと考えています。

保護者や地域の皆様にも、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 地域学校協働活動推進員について

今年度から、玉名市立の全小・中学校に地域学校協働活動推進員という名称の人材が配置されています。その主な役割は、学校における教育的ニーズと校区内の各地域における地域おこし等に関わる需要を把握し、それぞれのニーズや需要に応じた活動を展開していくために、必要な人材の確保や場の設定を推進していく、いわば、学校と地域のつなぎ役ということになります。

本校では、保護者でもある清原さんにその役割を担っていただいています。この「大浜小だより」を校区内の全戸に配付・回覧できているのも清原さんのお陰です。



【地域学校協働活動推進員の清原さん】

なお、先に説明したように、地域学校協働推進員は地域のために動くことも大きな役割の一つですので、もし「児童と一緒に〇〇がしたい」などのご要望等がありましたら、ぜひ大浜小にご連絡をお願いいたします。

### 本校における前期後半開始期の新たな新型コロナ感染症対策

- 登下校時や授業のはじめと終わりのあいさつ等は声を出さず、黙礼のみ
- 授業での二人組や班の活動は控える
- 1日3回の健康観察(確認)を行う
- 教師も含め人との距離は1m以上とるよう心がける
- 給食は一方向を向いての黙食を徹底、準備・片づけ時の無言を推進する
- 下校後も、不必要に出歩いたり友達と遊んだりはしない 等

### 9月～12月の主な行事

- ・9月9日～10日 6年修学旅行  
→ 12月21日～22日に延期
- ・9月22日 教育事務所学校訪問  
→ 2時間のミニ訪問に変更
- ・10月8日 前期終了
- ・10月12日 後期開始
- ・10月12日～13日 5年集団宿泊
- ・10月14日 玉名市陸上記録会  
→ 中止
- ・10月23日 運動会(午前半日)
- ・11月10日 玉名市音楽会  
→ 中止
- ・12月3日 授業参観
- ・12月16日 持久走大会
- ・12月24日 後期前半終了

※いずれの行事も新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によって延期や中止となる可能性があります。